

## 令和6年度第1回喜多方市総合戦略推進会議 会議録

日 時：令和6年7月16日（火）13:30 ～ 15:15

場 所：喜多方市役所2階 大会議室

### ■出 欠

#### 1 出席委員（15名）

大西 尚和委員、星 宏一委員、五十嵐 敦委員、松本 榮二委員、齋藤 百合子委員、  
小水 欧貴委員、牧田 実委員、永井 克明委員、村上 将臣委員、長谷川 武之委員、  
渡部 孝一委員、岩田 悠二郎委員、森田 正明委員、渡部 礼子委員、池田 満吉委員

#### 2 欠席委員（5名）

佐藤 明紀委員、渡部 淳子委員、五十嵐 明美委員、竹野 繁人委員、花見 紀子委員

#### 3 市出席者

|            |        |          |        |
|------------|--------|----------|--------|
| 市長         | 遠藤 忠一  | 企画政策部長   | 遠藤 紀雄  |
| 総務部長       | 永井 輝彦  | 市民部長     | 小荒井 浩  |
| 保健福祉部長     | 五十嵐 俊之 | 教育部長     | 佐藤 茂雄  |
| 農業振興課長     | 小林 幸太郎 | 商工課長     | 鈴木 美智子 |
| 観光交流課長     | 瓜生 昭彦  | 建設部参事    | 安藤 義弘  |
| 熱塩加納総合支所長  | 渡部 敏裕  | 塩川総合支所長  | 大場 悟   |
| 山都総合支所長    | 山口 和志  | 高郷総合支所長  | 佐藤 利則  |
| 企画調整課長     | 長谷川 仁  | 企画調整課長補佐 | 横山 武憲  |
| 企画調整課副主任主査 | 久保 隆   | 企画調整課副主査 | 草刈 貴浩  |
| 企画調整課主査    | 佐藤 康丈  |          |        |

### ■会議次第

委嘱状交付

#### 1 開 会

#### 2 市長あいさつ

#### 3 会長あいさつ

#### 4 諮 問

#### 5 議 事

(1) 第2期喜多方市総合戦略（令和5年度）の効果検証について【資料1】

(2) デジタル田園都市国家構想交付金活用事業（令和5年度）の効果検証について【資料2】

(3) 次期喜多方市総合戦略の策定について【資料3】

6 その他

7 閉 会

■議事内容

(1)第2期喜多方市総合戦略（令和5年度）の効果検証について【資料1】

※資料1をもとに事務局より説明。

●委員

P11の市内総生産額の令和3、4年が抜けているのはなぜか。

○事務局

こちらの指標については、3年ほど遅れて公表になる指標であり8月に令和3年度の実績値が公表されます。

●委員

そうであれば、表の実績値R5はR3の誤りではないか。

○事務局

修正させていただく。

●委員

P15の大学研究機関等への相談仲介企業数及び企業間連携相談支援企業数は令和6年が15件となる根拠は何か。

○商工課長

企業数の累計であり、毎年3案件ずつ進め、トータルで15件という見込でありました。

○事務局

この数値については、累計ということになるため、各年度3件程度ずつ件数があるとして15件を想定したところでありますが、コロナの関係もあり、企業から相談がなかったこと、また、大学研究機関等へ相談に行くことが難しかったことで仲介するような案件がなかったということがあり、このような状況が続いていると思われます。

●委員

P14の工場新設・増設企業数についても同じ理由なのか。

○商工課長

工場新設・増設の企業数であり、その年度ごとに企業の方で新設・増設により設置された件数であります。コロナ禍ではありましたが、それぞれの企業の計画により増設された実績であります。

●委員

6年度の実績は26件ということか。

○商工課長

6年度については、目標値であり、5年度までが実績値であります。

●委員

8件、11件、12件、13件、13件と来て、どうして26件となるのか。すでに予約が入っているということなのか。

○商工課長

当初総合戦略の指標を作成するときに、これから綾金工業団地の造成もありましたので、先々までを見込み、これだけの数の新設・増設がされるだろうということで見込んだものでありますが、コロナ禍等もあり、現在このような実績となっています。

●委員

P15の大学研究機関等への相談仲介企業数及び企業間連携相談支援企業の令和6年を15件とした根拠は何か。

○事務局

この数値については、先ほども申した通り、累計ということになるため、各年度3件程度ずつ件数があるとして15件を想定したところであるが、令和2年度以降、コロナの関係もあり、仲介等が進まなかったということで、今のところ3件となっています。

●委員

P23のインバウンド対策の強化について、外国人観光客数の目標が8,000人で、コロナ禍が緩和した令和5年度は1,351人ということだが、全国的にはもうちょっと増えていると思う。例えば、令和6年度に入ってからどのくらいで推移しているのか、8,000人という目標に対してどの程度達成見込みがあるのかをお答えいただきたい。

○観光交流課長

インバウンド対策項目の中の、直近の傾向ということですが、外国人の方の観光客の入込の傾向に関しては、少し前の話になるが、大人数でバスでいらっしゃるという傾向がコロナ禍前はありました。ここ近年は、コロナ禍を経て旅行形態の変化に起因するものだと思いますが、小グループや個人といったような形のお客様をよく目にするところがあります。喜多方の観光の中で、インバウンドのお客様は通年でお越しいただいているような状況ではありますが、やはり一番は日中線のしだれ桜の時期がお迎えする機会が多いかと思われます。一部定点として観光案内駐車場とか、お土産屋になってしまうが、コロナ禍以前と比較して、伸びてはいます。ただ、感覚的な話となってしましますが、まだコロナ禍前の8割ぐらいかなという話はいただいているところでもあります。インバウンドの方が日本にお越しになられて、観光名所といわれる首都圏、関西方面、京都、大阪であるとか、そういったところの足向きがまだ多いのかなと感じているところでもあります。

●委員

ちなみに、会津若松市の状況との比較は把握されているか。

#### ○観光交流課長

お互いまだ直近のところで数字が出ていない状況ですが、意見交換レベルでは交わらせていただいている。その中で、会津若松市については、全体的に伸びているというところで、伸び率の一番いいところが教育旅行で、かなり戻ってきているという話をされており、その中でも外国人についても伸びているとのことであります。

#### ●委員

P45 の人づくりということだが、行政と家庭教育との関わりについてどのような施策がとられているのか。

#### ○教育部長

教育委員会として、この人づくりの趣旨については、主に小学生をメインに学校教育の道徳関係とか総合学習で実施しており、本市の偉人について学習し、そういう人の考えを学習したうえで、児童生徒それぞれが自分なりのめあてを4月早々に定め、年度末に振り返りをして、それを持ち帰って、保護者にもこういう方がいて、こういうことをやっていたと、それに対して私は、僕は、こういうことをやっていくんだということで子どもたちへの教育を実施しています。また、それぞれの公民館の公民館事業として、本市の偉人の功績や考え方について、生涯学習の一環として実施しています。

#### ●委員

子どもが少なくなってきた。親と子の関係は今、すべて円満な形で進んでいるのかという疑問がある。私の近くに小学2,3年生の子どもがいる。私が外にいたら、私の周りをうろついてきて、どうしたのと聞いたら、寝ているうちに親が誰もいなくなったと。それならば、うちに来てテレビも見ているかと言うと黙ってる。名前は何て言うのと聞くとお母さんが教えちゃいけないと言ったと教えてくれなかった。私が家に入るとピンポンでチャイムが鳴り、出てみるとその子だった。その子は、さっき僕が言ったことをお母さんに言わないでね。それ言うと僕が叱られるからと。小学校2,3年生の子どもがですよ。胸がもう本当に痛くなりました。こういう風な形で子どもは今生活しているのかと。ですから、家庭教育というものが、どこで勉強するとか、身につけるとかということを行政が考えていかないと駄目なのではないかと思う。

#### ●委員

コロナの影響とか、計画を策定した時に想定していなかったいろんな事情があってそれぞれ苦戦している指標もあれば達成している指標もある。ここには出ていないが、普通、企業とかではSWOT分析といって、強み、弱み、機会、脅威の4つに分割して、一体どういうところが強くてどういうところが弱いのか、伸びしろはどこにあるのかという分析をしており、喜多方市もそのような分析をされていると思うが、その辺のところは今回の計画づくりでどのようなアプローチをされるのか、参考までに教えていただきたい。

## ○事務局

現在、新しい総合戦略の策定に向け、進めているところであります。そのような中でやはり、効果検証及び市民の皆様の意見をいかに汲み取るかという部分に注力しているところであります。その分析に基づき、目標数値やKPIをどのような項目にしたらいいかこれから実際の作業に入るところになります。強み、弱みというのは、今までいろいろな検証してきたところになりますが、新たな総合戦略については、その中でも一番必要な部分である人口減少、少子高齢化に向けた対策に重きを置いて策定したいと思っております。

## ●委員

少子高齢化、人口減少は全国的な傾向であり、日本全国の自治体が他の自治体から人を引っ張りこするような状況ではないという認識がある。人を増やすということよりも少ない人口だけでも、いかにそこに住んでいる人たちが生きがいを持って楽しく豊かに暮らせるかという方向性に重点を置くと自然に人が増えていくのではないかというのが個人的な意見である。

## ●委員

本校は実業高校ですから商業と工業がありますが、商業科の生徒の中でも、地域おこしというところを勉強の1つのテーマにしているところもあり、P22の空き店舗を活用した新規起業・創業件数ということで令和5年度は45件として実績を挙げており、喜多方市の中でこんなに新規で事業をやっている方がいるんだと大変勉強になった。我々もどういう方向で地域に発展していく可能性があるのかというところを学校教育の中で考えているところであるので、どんな業種や業態が新規で出されているか、そういう傾向みたいなものを教えていただきたい。

## ○商工課長

業種の内訳ですが、製造業のパン屋や、飲食業の方、宿泊業の方等いろいろあります。店舗を構えなくても、専門技術サービスの分野、林業の分野、生活関連サービスの分野といったものも創業企業として件数を累計しているところであります。本市の創業支援の取組として、計画に基づき市を挙げて創業を支援する体制を整えておりますが、本市だけでは難しい部分もございますので、金融機関、商工団体等との連携を図りながら、力を入れているところであります。

## ●委員

もう少し信憑性のある資料を定期的に出させるような指導をする必要があるのではないかと思います。各企業にこういうことを調べたいからきちっと出すようにしてほしいと。こういうようなことを各団体の長あたりによく説明した方が、もう少し信憑性のある資料が出てくるんじゃないかと思います。全然調べていない、飛んでいる年度もある訳ですから。P16の商業売上額は、平成30年、令和3年しか出ていない。データが出るようにしないと特に公募市民で来られた方に対しても申し訳ないと思う。

塩川町誘致企業協議会は13社あり、その従業員が1,200名、売上が250から300億

円ある企業、団体で、喜多方市には、私が思う限り協力しているんだという自負を持っている。

○事務局

塩川町誘致企業協議会様におかれましては、毎年、売上額等、集計を行っており、しっかりした数値があることを存じ上げているところです。

今回目標にしたものについては、国、県、市の統計に基づくものを KPI として掲げたものであり、どうしても数値が取れないものが今回何ヵ所かあります。先ほどもありました通り、3 年ほど遅れて結果が出るようなものもあり、皆様には、効果を検証いただくのが難しいようなものも含まれておりますので、次期総合戦略策定の段階で KPI、目標設定についても検討したうえで、策定させていただきたい。

●委員

各企業さん、商工団体さんもいろいろご苦勞かけていることをもちろん存じ上げているところですが、引き続きよろしくお願ひしたいと思います。

塩川町誘致企業協議会では、毎年、売上から人数から全て資料を提出しなさいと言って、出すような形になっている。

企画調整課の 9 件、保健課の 8 件、農業振興課の 5 件っていう、こういう大所のとこだけでもきっちり掴んでいかれてはどうか。

(2) デジタル田園都市国家構想交付金活用事業（令和 5 年度）の効果検証について【資料 2】

※資料 2 をもとに事務局より説明。

●委員

ポピュレーションアプローチの強化による健康増進及び産業活性化事業について、令和 7 年度までの事業となっているが、令和 8 年度以降は交付金を何らかの形でもらうことになるのか。

○事務局

このデジタル田園都市国家構想交付金事業については、あくまでも今回お示しした事業年度中に使うものに対して対象とするということになります。場合によっては、延長されるようなこともあります。原則、この年度で終わりになるので、別の形で申請するか、新たなものをみつけてくるというようなことになります。

●委員

消滅可能性都市が発表されたが、会津の中で入っていない地域はどこかご存知か。

○企画政策部長

柳津町、昭和村、湯川村、磐梯町であったと認識しております。

●委員

私は、移住してきたが、家の中で電話が通じず、家に光回線を引くのに 1 年半かかった。昭和村は、3 年前に既に村全域をフリー Wi-Fi にするという宣言している。喜多方市内で

県道沿いに住んでいて電話も通じない。光回線を引くのに1年半かかる。何それという話になる。デジタル化、DXとか言っているが、そういう最先端の話をする前に、田舎に住んでいるような家のことも考えていただきたい。

昭和村が全域 Wi-Fi になることにすごい危機感を持った。喜多方市は明らかに遅れているんじゃないかと。これはまずと思い、折り畳み携帯電話を持っている人を集めて、youtuber になろうという youtube 講座や zoom 講座をして4年目になるが、今も続いている。私の手が離れても、住民がみんなでグループを作って youtube 講座が続いている。なのに、総合支所では、Wi-Fi がないのはどうなのか。デジタル化を考える時には、全体的な目で、俯瞰して見ていただき、市内にはそういうところもあることを理解していただきたい。

### (3)次期喜多方市総合戦略の策定について【資料3】

※資料3をもとに事務局より説明。

#### ●委員

今回のものはデジタルが新しく加わったところがみそだと思う。昭和村の Wi-Fi サービスについての話が出たが、実は会津美里町でも無料の Wi-Fi サービスをしている。デジタル化は非常に重要で若い人が住みやすいというのは、そこに依存していると思う。Wi-Fi サービスを喜多方市として研究されているのか、こういう取組を将来的に進めていきたいということをお答えいただきたい。

#### ○企画政策部長

会津美里町の件については、把握しているかどうかまでは確認していないが、近隣の状況については掴んでいると思います。本市においては、DX 推進の基本計画を策定し、DX の推進に努めているところでありますが、少子化対策で効果が出ているというようなものがあれば、今後の新しい計画策定にあたって、検討したいと思います。

#### ●委員

人口減少に対応するとか、子どもを誰一人取り残さないとか、たくさんの文言があるが、それに1つも応えられていないのではないかな。例えばだが、アメリカでは、1日のうち1, 2時間、子どもを1人で置いておくと犯罪になる。誰かが通報して、警察が親を問い詰めるようなことを日本でも実施したらどうかと思う。どうしても、今、地域が疎遠になってしまっていて、人の家のことなんかどうでもいいみたいになっている。そういう環境の中でどうして子どもの数を増やすことができるのかと思うので、そういう技術を入れていくというやり方も大事ではないかと思う。毎回、耳障りのいい言葉でまとめているが、喜多方が変われば日本が変わるぐらいの目標でやれば、産官学すべての人たちの心意気が変わってくると思うので、そういった文言はどうか。

#### ○事務局

今回の総合戦略につきましても、総合計画が基となっている。総合計画が最上位計画ということで、あくまでも、力強い産業人が輝く活力満ちる安心快適なまちという総合計画に則って、総合戦略も定めていくことになるが、個別の内容、実施に向けては、今ほどい

ただいたご意見も参考にしながら策定したいと思う。

●委員

喜多方の魅力を考えた時に、1つは豊かな自然はあると思うが、日本全国どこにでもある。そこで提案だが、豊かな自然があるではなく、豊かな自然の中で生物多様性を理解している住民がたくさんいるというのは、1つの売りになり関係人口創出のきっかけになるかと思う。私は、ビオトープ管理士として、生物多様性、ネイチャーポジティブというようなSDGsと絡んだセミナーを行っている。里山再生として、今週も樹木医の先生を呼んで里山再生セミナーを2日間行う。そういうことが住民主体でしかできていない。そういうところにもうちょっと市の方でも協力いただけるとありがたい。これからは、生物多様性やネイチャーポジティブの考え方をやっていかないと関係人口の創出にも支障が出ると思う。

先ほどのWi-Fiのこともだが、Wi-Fiのないところに若者は来ないから、そういうことがないようにしていただきたい。

■その他

●意見等なし

以上